



主な内容

- 3月市議会定例会・市政報告 ... P2～5
- まちのHOT NEWS P6～7
- 男鹿市行政改革大綱 P8～9
- 新しい脇本保育園 P10
- 市民のひろば P11
- くらしの情報 P12～15
- ふるさと地名散歩 P16

全部飲んだ？おいしかった？

五里合保育園で行われた「お茶会」。お茶の作法を学んだ園児たちは、抹茶と甘い和菓子をおいしくいただきました。

議会

3月市議会定例会



3月市議会定例会が、2月27日から3月15日までの17日の会期で開かれています。今回審議されている案件は、平成18年度の一般会計や特別・企業会計の当初予算案、平成17年度各会計補正予算案などです。

開会初日の本会議では、佐藤市長が「本市ゆかりの荒川静香選手が、トリノオリンピックピック女子フィギュアスケートで日本人初の金メダルに輝いたことに対し、市民の皆さんとともに心からお祝い申し上げます。さて、昨年4月に初代男鹿市長に就任して以来、市民本位の開かれた市政をモットーに、新市建設計画に基づき諸施策・事業を推進し、新市の基盤づくりに努めてきました。今後は、男鹿市行政改革大綱に沿って、事務事業の見直しや定員管理の適正化、簡素で効率的な行政システムの確立などに取り組むとともに、合併に伴う国・県の財政支援など、限られた財源の有効活用を図りながら、引き続き新市の基盤づくりと喫緊の行政課題に対応していきます」と市政運営の基本方針を述べ、平成18年度の主な施策・事業について説明しました。

郷土の誇りを全国へ、活力あふれる産業づくり

観光の振興▼観光客の受け入れ環境の整備を図るため、引き続き観光案内機能施設整備事業を推進し、なまはげをモチーフにした歓迎モニュメントや観光情報を提供する観光案内所などの整備を実施するとともに、男鹿観光の宿泊拠点である男鹿温泉郷の魅力アップと宿泊客の増加を図るため、男鹿温泉郷環境整備事業を推進し、多目的施設の整備などを実施します。

また、観光キャンペーンやラジオ番組を活用したイベントなどの情報発信を実施するほか、映画ロケへの支援、教育旅行の招致や各種大会の誘致など、誘客活動を積極的に推進し、観光客の増加に努めます。

農業の振興▼水田農業経営の安定と発展を図るため、関係団体と一体となり、需要に応じた売れる米づくりを推進するとともに、稲作を中心とした複合経営の確立を推進するため、戦略作物の産地拡大と担い手の確保育成に努めます。

また、生産基盤の強化を図るため、浦田地区、若美北部地区ならびに若美中央地区の担い手育成基盤整備事業をはじめ、岩倉又地区、仁井沢地区、一ノ目潟地区および鶴木道村地区のため池等整備事業を推進します。

林業の振興▼森林の環境保全を図るため、森林環境保全整備事業や森林整備地域活動支援交付金事業を実施するとともに、樹種転換事業など松くい虫防除対策に取り組みます。

漁業の振興▼漁業生産基盤の強化を図るため、湯之尻漁村再生交付金事業をはじめ、若美漁港地域水産物供給基盤整備事業などを実施します。

また、築いそ設置事業やクルマエビ、アワビなどの種苗放流事業を継続するとともに、ヒラメ稚魚の購入に支援するなど、つくり育てる漁業を推進します。

商工業の振興▼引き続き地元中小企業の経営基盤の強化と地域提案型雇用創造促進事業などによる雇用機会の拡大ならびに男鹿市中小企業振興資金や商工組合中央金庫預託金などによる中小企業の金融円滑化に努めます。

いのち輝く、いきいき福祉のまちづくり

少子化対策▼子育てと仕事の両立を支援するため、市内8地区で実施している放課後児童健全育成事業を、新たに五里合地区においても実施します。

さらに、玉ノ池保育園および若美南保育園で実施している休日保育を、新たに脇本保育園においても実施す

るとともに、保育園における延長保育や一時保育、若美幼稚園での預かり保育に加え、脇本保育園で病後児保育を実施するほか、船越保育園で実施している地域子育て支援センター事業を、脇本保育園においても実施します。

また、出産や育児における経済的負担の軽減を図るため、乳幼児医療費の所得制限の一部撤廃、保育料助成の充実、乳児養育支援金や第3子以降の出産祝金の支給のほか、妊婦健康診査やチャイルドシートの購入ならびに乳幼児のインフルエンザ予防接種に助成します。

高齢者対策▼敬老祝金および介護慰労金支給事業、介護用品購入券交付事業、高齢者生活援助事業、地域福祉総合推進事業を継続するなど、在宅福祉サービスの向上に努めるとともに、高齢者の社会参加など生きがいと健康づくりを推進するほか、介護保険事業においては、高齢者の生活を総合的に支援する「地域包括支援センター」を設置し、保健医療の向上および福祉の増進を包括的に支援する体制の整備を図ります。

障害者福祉▼障害者自立支援法の施行に伴い、身体、知的および精神に障害を有する方に対するサービスの一元化を図り、障害の種類にかかわらず包括的に支援するため、地域生活支援事業を促進し、障害を有する

方の能力および適性に応じ、自立した日常生活を営むことができるような福祉サービスを総合的に提供します。

人と自然が共存する、暮らし潤う環境づくり

市内道路網の整備▼引き続き船越払戸線、申川鵜木線、三本松橋本線ならびに打ヶ崎飯ノ森線の道路改良事業やなまはげラインの道路修繕事業を実施するとともに、船越踏切駅前線道路改良事業に着手するほか、箱井琴川線、相の沢赤石台線などの舗装改良や集落内道路の維持補修を実施します。

また、国道101号の整備については、引き続き羽立バイパスの早期完成と仁井山・牧野間ならびに浜間口地区の早期事業化、五里合および若美区間の路線変更について働きかけます。

さらに、県道など半島循環道路についても、臨港道路生鼻崎線の4車線化や戸賀の急坂道路の解消、払戸箱井線、男鹿琴丘線百川工区などの早期完成について働きかけます。

防災・消防体制の強化▼昨年8月15日の集中豪雨による河川のはんらんにより多くの被害を受けたことから、浸水被害を防止するため、地元住民とも協議しながら保量川と金川川の

排水路整備の実施設計に着手します。

また、消防力の充実強化を図るため、防火水槽や消火栓など、消防施設整備事業を実施します。

ごみ処理対策▼現清掃センター処理施設の適切な維持管理のため、施設維持補修事業を計画的に実施するとともに、新聞、雑誌など古紙類の分別収集を若美地区に拡大するなど、資源化に努めます。

また、全市一斉清掃や八郎湖クリンアップ、海岸清掃など全市美化運動を展開し、環境美化に努めます。

住環境の整備▼内子第2団地に公営住宅を建設するとともに、既存公営住宅の水洗化工事を進めるほか、公共下水道事業を推進します。

また、全市一斉清掃や八郎湖クリンアップ、海岸清掃など全市美化運動を展開し、環境美化に努めます。

住環境の整備▼内子第2団地に公営住宅を建設するとともに、既存公営住宅の水洗化工事を進めるほか、公共下水道事業を推進します。

のびのび育む、創造力あふれるひとづくり

学校教育▼教育環境の整備充実を図るため、校舎などの維持補修に努めるとともに、船越小学校耐震補強・大規模改造事業を実施するほか、中学生海外派遣や春日井市との児童交流学習などを実施します。

スポーツ活動の推進▼総合体育館の駐車場や管理道路の改修、陸上競技場の外壁やスタンドの改修を実施するほか、各種市民スポーツ大会を開催するなど、市民スポーツの振興に

努めます。

また、いよいよ明年に迫りました秋田わか杉国体については、引き続き諸準備を進めるほか、本年は、リハーサル大会として、第57回東北高等学校ラグビーフットボール選手権大会兼NHK杯東北高等学校ラグビー選手権大会、第52回東北高等学校剣道選手権大会・第38回東北高等学校女子剣道選手権大会、全日本セーリング選手権大会や全日本アマチュアボクシング選手権大会が本市を会場に開催されることから、国体の成功に向け、競技運営の習熟を図るとともに、国体に対する市民の関心を高めます。

地域の心を未来に引き継ぐ、文化・伝統のまちづくり

国指定の重要無形民俗文化財であるなまはげをはじめ、統人行事、脇本の山車どんどや福米沢の送り盆など、地域に伝わる民俗行事の保存・伝承に努めます。

また、引き続き脇本城跡環境整備事業を実施し、その適切な保存管理と有効活用を努めるほか、男鹿の自然・歴史への理解を深めるとともに、ふるさと意識の高揚を図るため、文化財マップの作成や菅江真澄の道復元事業を実施します。

市政報告

みんなが主役、ともに生き、
ともに育む地域づくり
コミュニティ活動の活性化を図る
ため、その拠点となる施設として、

豪雪による災害対策本部について

先の2月臨時会で報告したとおり、去る1月6日に設置し、その対応に努めてきたところです。

その後、雪崩などの調査をし、発生の恐れがなくなったことや2月20日現在積雪量が21センチとなったことなどから、2月20日正午をもって同本部を解除し、通常の体制としました。このたびの豪雪で被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げますとともに、除排雪などにご協力いただきました関係者や市民の皆さんに改めてお礼申し上げます。

私戸・鴻西・五里合中学校 3校統合について

昨年から、学区ごとこの保護者への統合説明会やアンケート調査を実施し、平成19年度新校舎建設工事着

道村地区コミュニティセンターを建設するとともに、宮沢地区コミュニティセンターの概算設計に着手します。

また、新市のまちづくりについて

工、平成20年度開校をめどに計画を進めてきたところですが、昨年12月国の規制緩和の中で、部活動や通学の利便性による指定校の変更も可とする学校教育法などの改正が明らかとなり、本計画の再検討が求められる状況となりました。

このため、今後は、学識経験者、保護者、市民代表の皆さんなどからもご意見を伺いながら、少子化が急激に進行する中で教育効果の向上を期して小・中学校の統廃合案について検討していきたいと考えています。

八郎湖周辺清掃事務組合の廃棄物処理施設整備計画について

同組合では、現在、ごみ処理施設基本計画策定などに取り組んでいるところであり、施設規模については、これまで熱回収施設を70ト、リサイクル施設を20トで計画していましたが、国の計画稼働率が改められたことに加え、本地域のごみ処理量の実績などにより、計画規模がそれぞれ60ト、15トに縮小されています。また、廃棄物処理方式については、

は、これまで以上に行政と地域住民が協働して取り組んでいく必要があることから、地域住民の意見をくみあげ、市政運営に反映するため、最も地域の実情を把握している各町内

全連続運転のストーカ式焼却炉とすることとし、その施設整備を平成18・19年の2カ年継続で実施することを去る2月10日開催の同組合全員協議会において報告したところです。

農業の状況について

平成18年度産米の生産目標数量についてですが、合併後の本市へは1万6828トが配分され、これを本市の基準単収で換算すると、作付目標面積は、2965ヘクタールで、転作面積は1470ヘクタールとなり、前年と比較し、目標数量で119トの減少、転作面積では67ト増加しています。平成16・17年度と米の生産目標数量が2年連続で増加していましたが、一転しての減少は農家にとっては厳しい状況です。

平成18年度は、米政策改革の現行対策の最終年度であり、生産調整の目標達成に向けて、JA秋田みなみなどの農業団体と連携し、集落座談会を中心に、需給の状況や産地づくり交付金などの効果的な活用方法を説明しながら、農家の皆さんへご協

会長などを対象とした町内会長等市政懇談会を地区ごとに開催し、市政の諸問題や地域の要望などについて率直な意見交換を考えています。

力をお願いしているところです。

また、国では、昨年の10月に、平成19年度より実施される品目横断的経営安定対策、米政策改革推進対策、農地・水・環境保全対策の三本の柱で構成される「経営所得安定対策等大綱」を決定しています。

この大綱を推進するにあたり、市としては、県やJA秋田みなみをはじめ、関係団体と連携を図りながら、説明会や集落座談会を開催し、認定農業者の掘り起こしや、集落内の合意形成による集落営農の組織化を支援するとともに、対策の対象となる担い手の育成・確保を図っていきます。

漁業の状況について

平成17年1月から12月までの漁獲量は、5799トで漁獲金額は18億8881万円となっております。平成16年と比較すると漁獲量では397ト、7割の増、漁獲金額では16万円の増となっております。

このうち、ハタハタ漁は漁獲量で約1025ト、漁獲金額では3億8

559万円となっており、沿岸季節漁では、漁獲量が919ト、漁獲金額は昨年より1566万円少ない3億1360万円、沖合底びき網漁では、漁獲量は106ト、漁獲金額は、1071万円少ない7199万円となっています。

これらの主な要因としては、マダラやイナダ、アジ、ハタハタなどが豊漁であったものの、価格が一般的に安値で推移したことや大型クラゲにより一部の定置網が操業できなかつたことなどによるものです。

**秋田県漁業協同組合の統合
市場の建設について**

地場産品販売センターと一体的に整備することが、より産業振興が図られるものと考え、昨年の11月11日同組合に対し船川港湾用地への建設を再度お願いしたところです。

その後、同組合では、本年1月28日開催の理事会において、本市の要望する場所への建設を決定し、去る2月8日付けで、県漁協から建設予定地の移行にあたり、6項目の要望がありました。

市としては、県漁協の方向性が確認できたことから、地場産品販売センターとの一体的整備を視野に入れた庁内の体制づくりを進めるとともに、要望事項については議会とも協議し、対応してまいります。

観光客の動向について

平成17年1月から12月までの観光客数は、若美地区を含め約241万6000人で、前年と比較し10・1割の減、また、男鹿温泉郷の宿泊客数は約15万6000人で、前年と比較し11・6割の減と推計しています。

この主な要因は、梅雨による天候不順や愛知万博の開催が大きく影響しているものと考えています。

**第43回なまはげ柴灯まつり
について**

本年は、開催も危ぶまれるほどの豪雪により、会場や駐車場、道路の除排雪への対応に追われ、非常に厳しい状況でしたが、関係機関などのご協力により予定どおり2月10日から12日までの3日間実施したところです。

今年は、里のなまはげに福米沢地区からも参加いただくとともに、なまはげの出演時間を増やすなどイベントの充実に努めたところですが、厳しい寒さや秋田新幹線の事故などの影響により、昨年より減少し2万8000人の人出となりました。

ご協力いただきました真山地区の皆さんをはじめ、関係各位に対しまして厚くお礼を申し上げます。

寒風山の山焼きについて

実施日を毎年3月の第3日曜日と定め計画を進めています。本年は、予定箇所である大噴火口周辺が豪雪により根雪が非常に多いことから、今後の雪解けの状況を観察しながら対応していきたいと考えています。

本市の雇用情勢について

ハローワーク男鹿管内の1月末現在の有効求人倍率は、0・49倍で昨年同期と比較し0・19ポイント上回っているものの、依然として地域内の雇用情勢は厳しい状況となっています。

なお、雇用の場の確保を図るため、昨年7月から実施した地域提案型雇用創造促進事業により、新たに37人の雇用が図られたところであり、平成18年度も引き続き本事業を継続し、新たな雇用の場の創出に取り組んでいます。

また、市内2高校における本年度未卒業予定者の就職状況についてですが、卒業予定者は278人で、この内就職希望者は県内が120人、県外が70人、合わせて190人となっており、これに対し、1月末現在の就職内定者は、県内が98人、県外が66人、合わせて164人、その就職内定率は86・3割で、昨年同期と比較し7割の上昇となっています。



払戸小学校の灯油漏れについて

2月9日、払戸小学校の暖房用送油管から灯油漏れがあり、消防署など関係機関に届けられました。

その原因は、屋根からの落雪などにより送油管が破損したもので、地下タンクからの送油を中止するとともに中和剤を散布しており、現在、教室内の暖房機には、室内タンクを設置して給油する方式に切替えたところです。

今後、雪解けを待つて配管などの再点検を行い補修するほか、周辺への影響が及ばないよう対処していきます。



▶今年度は県のポイントランキング1位のドンクシャーズ。東北大会でもがんばってください。



チームワークのよさが強さの秘けつ

野石ドンクシャーズ東北大会出場

2月26日、秋田市立体育館で行われた、第28回秋田県小学生ドッジボール選手権大会秋田県予選で、野石ドンクシャーズ（野石小学校）が準優勝し、東北大会出場を果たしました。



▲本番さながらのまなざしでボールを追う選手たち。

ドンクシャーズは、野石野球スポーツ少年団の冬の体力づくりとしてドッジボールを始めて今年で7年目になります。これまで、さまざまな戦術や練習方法を取り入れて経験を積み重ね県内でも強豪チームに成長し、東北大会には3回出場、平成15年に優勝しているのをはじめ、全国大会には3回出場しています。

現在は、3月12日に岩手県盛岡市で行われる東北大会に向け、東北・全国大会を経験している中学生を相手に実践練習を行い、本番に備えて攻撃や守備の最終調整が行われています。監督の鈴木彰さんは「自分を信じ仲間を信じてチームワークを大切にし、秋田県の代表として全力でがんばりたい。目標は全国大会出場」と、抱負を語っていました。

地域婦人会のリーダー養成に

男鹿市中央女性学級開催

中央公民館を会場に男鹿市中央女性学級が開催されました。この学級会は、地域が抱える課題や生活の向上について学びながら、地域婦人会のリーダー養成を目的として行われているものです。

学習会は、秋田魁新報社・小山淳一郎男鹿支局長を講師に迎え「マスコミの立場から見た男鹿の現状について」と題して講演を行いました。講演終了後は、小山支局長と活発な意見交換が行われ、今年度の学習会の日程を終了しました。



▲小山支局長はさまざまな視点から「男鹿の現状」について述べました。

市民の安全を願って

市へパトロール車寄贈



▲寄贈いただいたパトロール車を活用して、皆さんが安心して暮らせるまちづくりを目指します。

男鹿市建設業協会より、3月6日、防災パトロール車が寄贈されました。これは男鹿市建設業協会が、昨年から豪雪による災害に対して、今後の災害防止や防災思想の普及のために寄贈したもので、当日は、加藤義光会長から佐藤市長へ目録が手渡されました。

市では、寄贈されたパトロール車を防災・防犯パトロール車として、市民の皆さんの生活と安全を守るために使用します。建設業協会の皆さん、ありがとうございました。

感動と勇気をありがとう！ 荒川静香選手を特別表彰



Photo:アフロスポーツ

市では、トリノ五輪女子フィギュアスケートで金メダルを獲得した荒川静香選手に対して、3月21日に行われる「平成18年市の記念日記念式典」において特別表彰を授与することに決定しました。特別表彰は、荒川選手の快挙に対して、男鹿市表彰条例の規定に基づいて贈られるものです。

荒川選手は、父親の晃市さんが本市の船越荒町出身という男鹿に大変ゆかりのある選手です。

トリノ五輪では、華麗で優雅なスケーティングを披露し日本唯一のメダルとして、また、同種目ではアジア初となる歴史的な金メダルを獲得して、私たち市民に大きな感動と勇気を与えてくれました。

平成 18年

市の記念日記念式典

- 日時／3月21日(火) 13時30分～
- 会場／市民文化会館
- 内容／表彰、記念アトラクション

楽しみながら日本の伝統文化に触れる

五里合保育園児が「お茶会」に挑戦



▲この日は、楽しく、おいしい「お茶会」になりました。

2月27日、五里合保育園の園児たちが「お茶会」に挑戦しました。桃の節句を間近に控え、ひな人形が飾られた園のホールには、ござや緋毛氈、赤い大きな野点傘が設置され、園児たちがワクワク、ドキドキしながら、元氣いっぱい「ひな祭りの歌」を歌った後お茶会が始まりました。

遠州流・男鹿支部代表の榎田宗和さんから「お茶の作法」を教えてもらいながら和菓子と抹茶をいただき、園児たちからは「おいしい」「にがい」「まだ飲みたい」といった感想があり、この日は楽しみながら日本の伝統文化に触れる機会になりました。

協本婦人会との交流も行われた

春節を祝う会を開催

協本公民館で開催されている日本語教室では、外国で生まれ現在市内で生活している方々が、日常会話の上達にむけ、講師やボランティアからの指導を受けて勉強しています。このほど行われた「春節（中国の旧暦の正月）を祝う会」では、受講生たちが日本での生活についてスピーチした後、協本婦人会の皆さんと一緒に作った中国料理や日本料理のほか、持ち寄ったケーキなどを囲んで楽しく交流を深めました。

講師の小野恭子さんからは「早く言葉の壁を乗り越えて、充実した生活を送ってください」など、激励の言葉が贈られました。



▲受講生たちは、協本婦人会の皆さんと一緒に料理を作り交流を深めました。

男鹿市行政改革大綱 (集中改革プラン)

市では、行政サービスを支える財政基盤の強化を図りつつ、地方分権時代に対応した独自の地域づくりをより広域的に推進するため、旧男鹿市・旧若美町が合併、新市「男鹿市」としてスタートし、市民福祉の維持増進に取り組んできました。

今後、財政の健全性に配慮しながら新市建設計画を実現し、市民福祉のさらなる向上を図るためには、行財政運営全般について総点検を行い、なお一層、行政改革を推進する必要があります。

また、国においては「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針」を策定し、定員管理の適正化や事務事業の再編・整理などを盛り込んだ「集中改革プラン」を策定のうえ公表するよう、地方公共団体に求めています。

このため、本市においても職員一人ひとりが不断の改革意識を持ちながら行政改革を積極的に推進するため「集中改革プラン」を包括した男鹿市行政改革大綱を策定しました。

大綱に掲げた諸改革については、今後、職員が一丸となって実現に努めることにしていますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

行政改革の推進項目

(1) 時代の変化に対応した事務事業の見直し

推進項目	実施の考え方	具体的な取組み	実施予定時期
①事務事業の簡素化、効率化	地方分権の進展や行政に対する市民のニーズに的確に対応するため、事務事業の簡素化、効率化を図り、行政サービスの維持向上に努める。	①かんぼの里ふれあいのつどい事業を廃止する。	平成18年度～
		②庁舎案内業務の嘱託を廃止する。	平成20年度～
		③出稼ぎ労働者地域相談指導員を廃止する。	平成18年度～
		④スクールバスの路線バスへの移行を検討する。	平成17年度～検討 平成19年度～実施
		⑤敬老会の統合開催を実施する。	平成20年度～
		⑥福祉バスなどの運行のあり方を検討し、運行台数を見直しする。	平成20年度～
		⑦市主催各種スポーツ教室、大会の競技団体への移行などを推進する。	平成18年度～
		⑧病院経営に精通した事務職員を民間から採用する。	平成17年度～
②補助金等の整理合理化	補助金などについて、行政の役割分担、負担割合の適否、効果などを精査し、統廃合などによる整理合理化に努めるとともに、新設の補助金は原則として認めないものとする。 また、市が担任する外郭団体の事務局については、官民の役割の明確化を図り、団体が自ら担うことができるよう育成指導に努める。	①航空防除事業費補助金を縮減する。	平成19年度～
		②転作団地化育成補助金を見直しする。	平成19年度～
		③(社)地域資源循環技術センター負担金を廃止する。	平成18年度～
		④秋田エアポートライナー運行事業補助金を廃止する。	平成18年度～
		⑤東京芸術大学ふれあい交流補助金を廃止する。	平成19年度～
		⑥職員互助会補助金を縮減する。	平成18年度～
		⑦農業用使用済みプラスチック等処理事業の縮減を検討する。	平成17年度～検討 平成21年度～実施
		⑧資源回収団体育成奨励金の縮減を検討する。	平成19年度～検討 平成20年度～実施
		⑨その他団体育成補助金の効果等を検証し縮減を図る。	平成18年度～
③自主財源の安定確保	財政需要の増加が予想される中、財政構造の健全化を図るため、市税などの収納率向上に努めるとともに、使用料などの受益者負担の在り方を検討しその改善を図るなど、自主財源の安定確保に努める。	①口座振替による納税を推進し、収納率の向上を図る。 口座振替加入率全税目30%以上	平成17年度～
		②広報への広告掲載を検討する。	平成17年度～検討 平成19年度～実施
		③市有財産の計画的売却を推進する。	平成17年度～
		④施設使用料など受益者負担のあり方を検討し、見直しを図る。	平成17年度～検討 平成20年度～実施
		⑤粗大ごみの有料化を実施する。	平成20年度～
④財政健全化に向けた目標値の設定	自主財源である市税などの伸びが期待できない中で、国の三位一体改革により地方交付税の大幅な削減が見込まれ、一方で、少子・高齢化により扶助費などの社会保障関連経費が増加傾向にあり、今後、一段と厳しい財政運営が見込まれることから、財政健全化のための目標値を設定する。	①経常収支比率90%以内を目標とする。	平成17年度～
		②市債の単年度発行額を12億円以内とする。 (臨時財政対策債、減税補てん債、災害復旧事業債などを除く)	平成18年度～

(2) 定員管理と給与等の見直し

推進項目	実施の考え方	具体的な取組み	実施予定時期
①定員管理等の適正化	定員管理などの適正化を推進するため、今後の行政需要の動向を見極めつつ、事務事業の見直し、組織・機構の再編整備、公共施設の統廃合などを進め、効率的な行政運営を図りながら職員数の縮減を図る。	①市長部局など 平成17年4月1日現在434人を 平成22年4月1日現在368人に縮減する。 (66人減)	平成18年度～
		②病院 平成17年4月1日現在147人を維持する。	平成18年度～
		③企業局 平成17年4月1日現在36人を 平成22年4月1日現在34人に縮減する。(2人減)	平成18年度～
		④嘱託・臨時職員の雇用の適正化を図る。	平成18年度～

推進項目	実施の考え方	具体的な取組み	実施予定時期
②給与等の適正化	給与制度の適正化を図るため、国・県の勧告に沿って給与改定や諸手当などの見直しを図る。	①特殊勤務手当の見直し	
		ア. 福祉事務現業手当の月額5,500円を廃止し、月額200円とする。	平成18年度～
		イ. 清掃施設勤務手当の月額4,500円を廃止する。	平成18年度～
		ウ. 市税徴収手当を月額300円から200円に縮減する。	平成18年度～
		エ. 用地交渉手当を月額300円から200円に縮減する。	平成18年度～
		オ. 高所作業手当を廃止する。	平成18年度～
		カ. 企業局現業手当の月額5,500円を廃止し、月額0円とする。	平成18年度～
		②管理職特別勤務手当の支給対象を縮減する。	平成18年度～
		③時間外勤務手当の縮減を図る。	平成17年度～
		④国外出張時の支度金支給制度を廃止する。	平成18年度～

(3) 公共施設の見直し

推進項目	実施の考え方	具体的な取組み	実施予定時期
①幼児施設の統廃合	良好な保育環境の維持と効率的な施設運営を図るため、10人未満となる幼児施設などの統廃合を進める。	①大倉児童館、樽沢児童館の脇本保育園への統廃合を推進する。	平成17年度～
		②男鹿中へき地保育園の近隣施設への統廃合を検討する。	平成18年度～
		③船川保育園、羽立児童館、増川児童館の統廃合を検討する。	平成18年度～検討 平成21年度～実施
		④湯本児童館の近隣施設への統廃合を検討する。	平成18年度～
		⑤若美幼稚園と保育園の幼保一体化を図る。	平成19年度～検討 平成22年度～実施
②小中学校の統廃合	良好な教育環境を維持するため、児童生徒数の推移をみながら学校の統廃合を進める。	①五里合中学校、瀧西中学校、弘戸中学校を統廃合する。	平成20年度～
		②脇本第二小学校の統廃合を検討する。	平成17年度～
③給食施設の統廃合	効率的な給食業務と施設の有効利用を図るため、学校の統廃合などに合わせ給食施設の統廃合を進める。	①五里合共同調理場を北部共同調理場に統廃合する。	平成17年度～
		②船川第一小学校単独調理場を南部共同調理場に統廃合する。	平成18年度～
④その他公共施設の統廃合	公共施設の効率的、効果的な維持運営を図るため、施設の統廃合などについて検討、実施に努める。	①若美中央地区コミュニティホームを廃止する。	平成17年度～
		②青少年ホームの老朽化、利用状況をみながら廃止を検討する。	平成21年度～

(4) 指定管理者制度の活用と民間委託の推進

推進項目	実施の考え方	具体的な取組み	実施予定時期
①指定管理者制度の活用	公の施設について管理の在り方を検証し、指定管理者制度の活用を推進する。	①平成18年度から45施設について指定管理者制度を導入する。	平成18年度～
		②平成21年度までに21施設について導入を検討し、随時導入する。	
②民間委託の推進	行政運営の効率化を図るため、事務事業の民間委託を推進する。	若美学校給食センターの運搬業務委託を実施する。	平成18年度～

(5) 第三セクターの見直し

推進項目	実施の考え方	具体的な取組み	実施予定時期
第三セクターの見直し	経営の効率化と経営基盤の強化を図るため、経営組織の整理統合と経営内容の見直しを検討する。	懶おが地域振興公社および株わかみ観光物産開発を統合するとともに、経営内容などの見直しを検討する。	平成18年度～

(6) 職員の資質向上に向けた能力開発の推進

推進項目	実施の考え方	具体的な取組み	実施予定時期
①研修事業の充実	人材の育成と意識改革のため、職場における実務研修および職場外研修の充実を図る。	①自治大学校、アカデミー、海外研修などの専門研修に職員を派遣する。	平成17年度～
		②独自研修を推進する。	
②人事交流の推進	職員の意識改革や幅広い見識、先進的行政手法の取得のため、人事交流を推進する。	県などとの人事交流を図る	平成17年度～

(7) 組織・機構の再編整備

推進項目	実施の考え方	具体的な取組み	実施予定時期
組織・機構の再編整備	新たな行政課題や市民の多様なニーズに対応するとともに、限られた財源、職員でより効率的に運営できるよう、部局課などや出先機関の統廃合などを進め、組織・機構の簡素・合理化を図る。	合併後の状況を見極め再編整備する。	平成17年度～検討 平成19年度～実施

(8) 審議会等の見直し

推進項目	実施の考え方	具体的な取組み	実施予定時期
審議会等の見直し	審議会などのスリム化を図るため、統廃合を推進するとともに、委員の公募制や女性委員の登用拡大を図る。	①審議会などの統廃合を検討する。	平成17年度～
		②委員の公募制拡大を図る。	平成17年度～
		③女性委員の登用拡大を図る。	平成17年度～

※「具体的な取組み」については、平成18年度においても検討することとしています。

木のぬくもりと太陽の光が降り注ぐ

脇本保育園が

完成します

平成17年8月より建設工事が進められていた脇本保育園が竣工間近になっています。

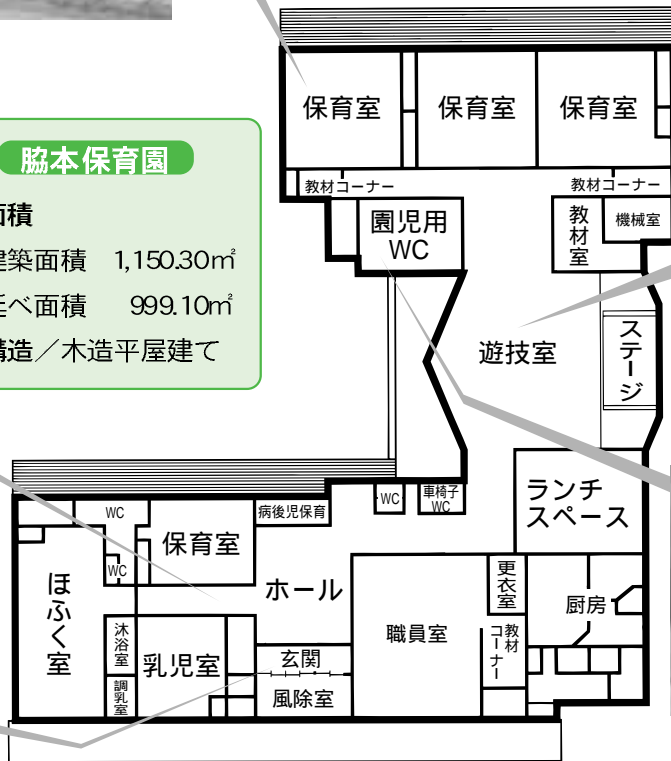
脇本保育園の建設は、現在の建物が築後34年を経過して老朽化していることや、同じ脇本地区の大倉児童館と樽沢児童館では保育児童が減少し、保育事業を再編する必要があることから行われました。また、施設の充実により増加している乳幼児の保育需要にも応えることも可能となります。

新しい脇本保育園は、脇本出張所の西側に位置し、白を基調とした外観の木造平屋建てで、ランチスペースや広い遊戯室、病後児保育室などが設置されています。また、園内にはだしでも温かい床暖房と天窓から降り注ぐ太陽の光で、明るく暖かい造りになっています。



脇本保育園

- 面積
建築面積 1,150.30㎡
延べ面積 999.10㎡
- 構造／木造平屋建て



4月から脇本保育園で 行われる保育サービス

脇本保育園では、これまでの保育事業に加え、4月から新たに次の保育事業を実施します。

●休日保育／保護者が、就労や疾病などの理由により、日曜・祝祭日に家庭内で保育ができなくなった場合に利用できます。

●病後児保育／市内に住所のある、生後2カ月から小学校3年生までの児童が、病气回復期にあり安静にする必要があるため集団保育が困難な場合に、医師が受け入れ可能と判断したときに利用できます。

●地域子育て支援センター事業／就園前の乳幼児とその家族を対象に、遊びや学習の場の提供、また、子育てに関する情報提供や育児相談などを実施します。

▼詳しくは、お問い合わせください。

子育て支援課 ☎23-22111
脇本保育園 ☎25-2214

みんなが主役
市民のひろば



伊藤 結人くん (船川)

みんなの愛情を独り占めにして、スクスクと育っています。
元気で優しい男の子になってね！

★ わが家の
アイドル ★



加藤 彩夏さん (船越)
美香ちゃん
海斗くん

楽しい保育園、優しいお姉ちゃん、そして、車が大好きな海斗を中心に、我が家は3人のかわいい笑顔でいつもにぎやかです。
これからも、仲良く明るく育ててね！

「市民のひろば」への参加をお待ちしています。「わが家のかわいい子ども・自慢の孫」の写真にメッセージを添えてお寄せください。また、市内で活動している「グループ・サークル」の情報もお待ちしています。どしどしお寄せください。お待ちしております。

グループ サークル PICK-UP

市内のグループ・サークル紹介コーナー…⑦

心と体に響くテケテケサウンド
エレキバンド ビーチサウンズ

音楽をこよなく愛し、ポップスからベンチャーズまで、幅広いレパートリーを持つ「ビーチサウンズ」の皆さんを紹介します。

普段の仕事を持ちながら、楽器を演奏するのが楽しみでならないという4人のメンバーで、ギター、スチールギター、ベース、ドラムスから構成されているビーチサウンズ。皆さんの華麗な指先から作り出されるテケテケサウンドは、心と体に響きわたります。

10代のころに、ラジオから流れてきたベンチャーズの「テケテケサウンド」に衝撃を受け、若いころはエレキギターに夢中だったという皆さんは、3月19日に開催される「第5回秋田県エレキバンドフェスティバル」に向けて練習を重ねています。今回、仕事の都合で本来のメンバーが集まらず、参加を断念しようかと思っていたのですが、若美ベンチャーズからの応援により臨時的な「ビーチサウンズ」を編成しての参加となりました。現在は、フェスティバルを盛り上げようと、週2回の練習にも熱が入ってきています。

代表の小松信通さんは「演奏している時は日常のことを忘れ夢中になります。若いころに必死になって練習した曲を演奏すると、いろんな思い出がよみがえってきて若い気持ちになります。大好きな音楽は楽しみながら一生続けていきたい」と語ってくれました。



第5回秋田県エレキバンドフェスティバル

秋田県のアマチュアバンドが一堂に集い、より多くのエレキファンに生涯青春の元気を提供します。

テーマ／輝け！団塊世代、明るい未来が待っている

●日時／3月19日(日) 13:00～17:30

●会場／男鹿市民文化会館 大ホール

▶問い合わせ／秋田県エレキバンドフェスティバル実行委員会事務局(若美公民館内) ☎46-4109(鈴木)

●応募先

〒010-0595 男鹿市船川港船川字泉台66の1
男鹿市企画政策課広報統計係

TEL 0185-23-2111 内線3107 FAX 0185-23-2922

Eメール:p_relations@city.oga.akita.jp

くらしの INFORMATION 情報

平成18年度奨学生募集

【対象】 優良な学生で、経済的理由により修学の困難な方

【募集人員】

大学・短大・専修学校生、高等専門学校生・高校生 各若干名

【貸付金額】

○大学・短大・専修学校生
自宅2万円、自宅外3万円
○高等専門学校生・高校生
自宅1万2000円、自宅外1万5000円
※いずれも1カ月あたり表示された金額以内とする。

就学援助制度があります

市では、経済的な理由によりお困りの方のために、学習に必要な費用や給食費などを援助します。

【申請できる方】

男鹿市に住所を有し、小・中学校に在籍する児童生徒の保護者で次のいずれかに該当する方。

- ①生活保護が停止、または廃止になった方
- ②市民税が非課税、または減

【受付期間】 3月20日(月)～4月10日(月) (土・日曜日、祝日を除く)

【提出書類】

- ①奨学金貸与願②学校長の推薦書
- ③家計調査書④学校の成績証明書
- ⑤健康診断書⑥戸籍抄本
- ⑦所得証明書

※募集要領および①～③の用紙は学校教育課または総合窓口、各出張所にあります。

▼問い合わせ／学校教育課

☎46-4108

免されている方③国民年金保険料免除の扱いを受けている方④国民健康保険税減免、または徴収の猶予の扱いを受けている方⑤児童扶養手当の支給を受けている方⑥生活福祉資金による貸付を受けている方⑦保護者が就業できなかつたり、災害にありたり、長期療養、その他特別な事情で経済的に困っている方

市営住宅入居者募集

【申請方法】 各小・中学校に用意してある「就学援助申請書」に記入のうえ、小・中学校または教育委員会

学校教育課へ提出してください。
▼問い合わせ／学校教育課
☎46-4108

【募集期間】 3月16日(木)～4月5日(水) (土・日曜日、祝日を除く)

【募集戸数】

- ①内子第2団地(船越地区) 3戸
- ②鶏木団地(若美地区) 6戸

【規格】

- ①木造2階建て3DK、約80平方メートル
- ②木造平屋建て3DK、約80平方メートル

【家賃】

- ①2万6400円～4万3700円
- ②2万5000円～3万4000円

【駐車料金】 1500円(①のみ)

【敷金】 家賃の3カ月分

【入居条件】

・現に住宅に困っていること(持家)

◆給与所得の場合の基準年収目安(収入を得る人が1人の場合)

年収	2人で入居	3人で入居	4人で入居
	415万1999円以下	462万7999円以下	509万9999円以下

および男鹿市営住宅の1戸建て、および2戸1棟住宅の入居世帯は、対象外。
・平成17年中の収入が、基準年収の範囲内であること(17年・18年の中途で就職・退職などをした場合は、現在の収入)。
※応募者多数の場合、抽選となります。申込用紙は市役所建設課および若美総合支所環境建設課にあります。詳しくはお問い合わせください。
▼問い合わせ
建設課 ☎23-2111 内線2604
環境建設課 ☎46-2113

4月は若美地区の粗大ごみ搬入月です！

これまでどおり4月のうち、決められた8日間に申川不燃物処理場に搬入できます。搬入できるものとできないものをよく確認してから搬入してください。

搬入期日

	日曜日	水曜日	木曜日	土曜日
4月	2日	5日	6日	8日
	9日	12日	13日	15日

◇申川不燃物処理場 ☎47-2029

・受付日／水・木・土曜日
8時30分～17時15分

・休日／月・火・金曜日

※搬入の際は許可券が必要です。

搬入できるもの

【家具類】

タンス、机、イス、ベッド、応接セットなど

【家電製品】

ストーブ、ガスコンロ、電子レンジ、掃除機、電気ポット、炊飯器など

【その他】

自転車、一輪車、三輪車、トタン、傘、スキー板、スノーボード、スノーダンプ、ゴルフクラブ、布団、マットレス、プリンタ、スキヤナ、ワープロなど

搬入できないもの

【家電リサイクル指定5品目】

テレビ、エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機

【パソコン類】

パソコン本体、ディスプレイ、マウス、キーボード、ケーブルなど

※家電リサイクル指定5品目およびパソコン類の引き取りは、購入店または家電製品販売店にお問い合わせください。

【危険物】

ガスボンベ、薬品、廃油、バッテリーなど

【廃材・事業系粗大ごみ】

建築・建設廃材、農業用機械、農業用ビニール・プラスチック類、自動車、バイクなど

【その他】

タイヤ、ホイール、スプリングマットレスなど

▶問い合わせ／環境建設課 ☎46-2113

ポリオ予防接種のお知らせ

【対象】 生後3か月～90か月

*ポリオワクチンは6週間以上の間隔を置いて2回飲むと完了です。

今回が初めての場合は、今年10月にもう一回飲むこととなります。また、できるだけ生後18か月までに完了することが望ましいとされています。

【用意するもの】

母子健康手帳
記入済みの予防票

※予防票は当日記入し、予防接種手帳から切り離してお持ちください。

予診票のない方は会場で配布します。

▼問い合わせ

保健センター ☎24-3400
市民生活課 ☎46-2115

実施日	会場	受付時間	対象地区
4月12日(水)	若美コミュニティセンター	13時～13時30分	若美
4月17日(月)	保健福祉センター	13時30分～14時	船越
4月24日(月)			戸賀・北浦・男鹿中脇本・五里合
5月8日(月)			船川

若美地区のごみの出し方が4月から変わります

4月から、若美地区で古紙の分別収集を開始します。

【古紙収集日】毎月第1・第3土曜日

【分別の種類】

①段ボール②新聞・折り込みチラシ
③雑誌類 の3種類

【出し方】

家庭から出る古紙を①②③の3種類に分け、紙ひもで十字にしっかりと結び、古紙収集日の朝8時まで、お近くの集積所へ出してください。

【注意】

・紙ひも以外のビニールひも、ガムテープ、麻ひもなどでしばって出

さないでください。

・空き缶、ガラスびん、ペットボトルの収集日は、従来どおり毎月第2土曜日です。

◆事業所の方へ◆

事業所の古紙類は、収集業者へ直接依頼し、排出してください。

※古紙の分別と出し方については、広報おが3月1日号に折り込み(若美地区限定)した「若美地区の皆様へ(お願い)」をご覧ください。

▼問い合わせ

環境防災課 ☎23-2111
環境建設課 ☎46-2113

募集

レクリエーション農園 使用者募集

野菜や花の栽培は、健康増進や豊かな情操の育成に最適です。家族で土に親しみ、収穫の喜びを味わってみませんか。市内在住で耕地を有していない方を対象に募集します。

【場所】船越字サツピ

【区画数】26区画

※原則として1世帯1区画。

1区画は約50平方メートル(15坪)。

【応募期限】3月24日(金)

▼問い合わせ／農林水産課

☎23-2111 内線2206

労働基準監督官採用試験

人事院および厚生労働省では、広く一般から労働基準監督官にふさわしい人材を募集します。

【受験資格】

・昭和52年4月2日～昭和60年4月1日生まれの方。

・昭和60年4月2日以降生まれで大学を卒業した方、および平成19年3月までに大学を卒業する見込みの方、または人事院がそれと同等の資格があると認める方。

【第一次試験】

6月11日(日)8時45分～18時

【会場】秋田大学

【申込用紙請求先】

全国の労働局、労働基準監督署、公共職業安定所、または人事院地方事務局

【申し込み】4月3日(月)～14日(金)までに郵送(配達記録)で(14日の消印有効)。

【申込先】

〒010-0951

秋田市山王7丁目1-3

秋田合同庁舎

秋田労働局総務部総務課人事係

▼問い合わせ／秋田労働局

☎018-862-6681

内線423

国家公務員採用試験

人事院では、国家公務員採用一種試験(大学卒業程度)を実施します。

【受付期間】

4月3日(月)～10日(月)

【第1次試験】4月30日(日)

※申込用紙の請求や受験資格などの詳しい内容については、お問い合わせください。

▼問い合わせ

人事院東北事務局第二課

☎022-221-2022

URL <http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>

税務職員募集

仙台国税局では、地元の大学に通っている方、首都圏からUターンして公務員を目指す方など、東北の風土に慣れ親しんだバイタリティーあふれる職員を募集しています。今回募集を行うのは、試験内容が大学卒業程度の「国税専門官」です。

【受験資格】

・昭和54年4月2日～昭和60年4月1日生まれの方。

・昭和60年4月2日以降生まれで大学を卒業した方、および平成19年3月までに大学を卒業する見込みの方、または人事院がそれと同等の資格があると認める方。

【受付期間】

4月3日(月)～14日(金)

【受験申込書の請求】

最寄りの税務署、仙台国税局人事第二課または人事院東北事務局

▼問い合わせ

仙台国税局人事第二課

☎022-263-1111

内線3236

URL <http://www.sendai.ntago.jp>

お知らせ

子育て講座

子育て中のお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん。子どもを育てながら悩んでいること、相談したいことはありませんか。この機会に親業インストラクターに相談してみましよう。

【日時】3月17日(金)

10時30分～12時

【会場】市総合体育館会議室

【講師】親業インストラクター 鈴木 聡子氏

【対象】子育て中の方ならどなたでも

【費用】無料

※託児室(サブアリーナ)も設置する予定です。

▼問い合わせ／子育てカフェ

・にこりーフ 小玉

☎090-1776-3558

家畜巡回検診

【日時】3月23日(木)10時～

【内容】家畜の健康管理や受胎の確認など

【検診料】無料

【申込期限】3月20日(月)

▼問い合わせ／農林水産課

☎23-2111 内線2206

父親の家庭教育参加を 考える集い

小学生や中学生をもつ父親を対象にした家庭教育講座です。子育てについて一緒に考えてみませんか。

【日時】3月24日(金)

17時30分～18時30分

【会場】サンフーク男鹿

【講師】臨床心理士 石山 宏史氏

【対象】小中学生をもつ父親

【費用】無料

▼問い合わせ／生涯学習課

☎46-4110

男鹿写真クラブ作品展発表会

会員の作品を発表、展示しますので、ぜひご来場ください。入場は無料です。

【日時】3月24日(金)～26日(日)10時～16時

【会場】ハートピア

▼問い合わせ

男鹿写真クラブ事務局 泉

☎24-3009

男鹿市弓道場矢渡し式

男鹿弓道会では、男鹿市弓道場の完成を祝って「男鹿市弓道場矢渡し式」を開催します。当日は、秋田県弓道連盟会長・渡辺鉄哉教士七段によ

君のハートよ位置につけ

秋田わか杉国体

2007 第62回国民体育大会



セーリング



剣道



ボクシング



ラグビー

平成19年秋「秋田わか杉国体」開催！
男鹿市では右の4競技が開催されます

☎24-4700

▼問い合わせ／市観光協会

応答など

サービスの現状と分析について、
サービスマナー講習会、質疑

【内容】JTBお客様アンケートの現状と分析について、サービスマナー講習会、質疑応答など

【参加料】無料

【会場】男鹿観光ホテル

【対象】温泉旅館、一般旅館、

民宿、売店関係、運輸関係、

飲食業、賛助会員、商工関係

のほか一般市民にも広く募集

【日時】3月28日(火)

13時～17時

☎24-2091

▼問い合わせ

男鹿弓道会 三浦

【会場】男鹿市弓道場

(市総合体育館内)

【日時】3月25日(土)

9時30分～

る巻藁射礼(まきわらしやれい)や同副会長の伊藤徳次郎(いとうとくじろう)による天地祓の儀、また当会会長の小川昭三(こがわあきみつ)五段による矢渡しなどが執り行われます。弓道に関心のある方はぜひご見学ください。

【日時】3月25日(土) 9時30分～

お酒の消費者窓口

仙台国税局では「お酒の消費者窓口」を設置しました。

これは多数の消費者の皆さんから、お酒に対するご意見、ご要望やご質問などをいただき、消費者の観点も含めた総合的な視点から酒類産業行政を実施していくためのものです。ご意見などは、郵便、FAX、インターネットにより受け付けています。

なお、次の事項もできる限りお知らせください。

①氏名②年齢(〇十代でも結構です)③性別④職業(職種でも結構です)⑤住所(都道府県でも結構です)⑥電話番号(回答が必要な場合は必ずお知らせください)

【受付方法】

・郵便

〒980-0843

宮城県仙台市青葉区本町三丁目3番1号

仙台国税局 課税第二部酒税課内「お酒の消費者窓口」

あて

FAX

022-265-1614

インターネット

仙台国税局のホームページ

(<http://www.senda.rntago.jp>)

BCGの予防接種を実施します

【保健センター ☎24-3400】

●日にち／3月29日(水)

●受付時間／4か月児健診とともに接種希望の場合 13時～13時30分
予防接種のみ希望の場合 13時30分～14時

●会場／保健福祉センター

●対象者／生後直後～6か月未満

●対象地区／市内全域

【接種前の注意】

①配布した予防接種手帳をよく読み、予防接種の必要性や副作用などを確かめてください ②前日に入浴などをさせて体を清潔にし、当日は清潔な衣類を着用させてください ③子どもの日ごろの状態をよく知る保護者が同伴し、接種前に子どもの体調を確かめてください ④母子健康手帳、記入・署名済みの予診票を忘れずに ⑤会場で体温を測り、37.5℃を超える場合は接種できません ⑥不明な点は接種前に医師に質問し、納得した上で受けてください

をご利用ください。

▼問い合わせ／仙台国税局
☎022-263-1111

アートクラブ作品展

キプリなまはげアートクラブ(地域子ども教室)の作品展を行います。

一生懸命、そしてのびのびと描かれた子どもたちの元気あふれる作品を、ぜひご覧に

なってください。

【日時】

・3月18日(土) 13時～16時

・19日(日) 10時～16時

・21日(火) 10時～15時

※20日(月)は休館日です。

【会場】ハートピア

【入場料】無料

▼問い合わせ／生涯学習課

☎46-4110

地名散歩

地名その由来を訪ねて

⑫

金川 【船川港金川】

金川は男鹿半島南岸、船川の東隣にあり、現在は下金川、上金川、金川台に分かれています。この地名は戦国時代からあり、金沢、金山と同様に金属にかかわるものが多いと言われます。

金川の海岸線は、今では埋め立てられて昔の面影はありませんが、砂浜があったころには、浜一面砂鉄により黒くなっていました。また、山手には俗称で「カナクソサワ」と呼ばれる所があり、ここからは鉄のカスが見つかっています。これが金川の名前につながるように思います。下金川の字姫ヶ沢は昔、姫様が住んでいたという伝承があり、字今平沢、戸平沢などはその家臣の名前が由来であるとも伝えられているように、興味がわく名前と言えます。

八幡神社の境内には、ハタハタ漁に功績があった近藤武兵衛顕彰碑がまた、洞泉寺には船で積まれてきた観音様などの史跡があります。紀行文「雄鹿の夏嵐」には、天保13年（1841）6月1日、秋田藩士・長山盛晃が洞泉寺に寄り、和尚

としばし語り合ったと述べられています。



長山盛晃が描いた洞泉寺「雄鹿の夏嵐」より

交通安全情報

2月中の交通事故の発生状況

	発生件数	死者数	負傷者数
2月	10件	1名	13名
今年の累計	17件	1名	21名
昨年2月	6件	0名	7名
昨年2月までの累計	13件	0名	17名

男鹿市内において、交通死亡事故が発生しました。体調を考え、無理のない運転を心がけましょう。

納期限です、お忘れなく!!

納期限
3月31日(金)

平成17年度 国保税第9期

編集つらばなし

▼3月は弥生とも言いますが、これには草木がますます生い茂るという意味があり春の訪れを感じられます。また3月は卒業や旅立ちの季節です。楽しかった思い出を胸に、輝く未来へ大きく羽ばたいてください。(原)
▼野石ドンクシャーズの取材に行ってきました。自分が小学校のころ、体育の授業でやっていたドッジボールとは全く違い、攻撃や守備などにもさまざまな戦術やフォーメーションがあって、奥の深さを感じました。(貴)
▼あれほど積もっていた雪もすっかりとけ、待ちわびていた春の到来です。つらく苦しい時期を乗り越えれば必ず春はやってきます。今年の豪雪を乗り越えた皆さん、そして受験生の皆さん本当にお疲れ様でした。(恵)

市の人口と世帯数

(平成18年2月28日現在)



◆人口 35,870人
男=17,006人
女=18,864人

◆世帯数 13,266世帯
(住民基本台帳による)

船川	8,270人	3,348世帯
樺	1,052人	390世帯
戸賀	668人	287世帯
北浦	3,807人	1,463世帯
男鹿中	1,681人	692世帯
五里合	2,065人	646世帯
脇本	5,270人	1,880世帯
船越	5,882人	2,141世帯
若美	7,175人	2,419世帯

広報に対するご意見、ご感想をお寄せください。

FAX: 0185-23-2922 Eメール: p_relations@city.oga.akita.jp